

# 教育と文化



パタニティ・ハラメント

『男らしさ』とは

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係 ☎2115

皆さん、『パタニティ・ハラメント』という言葉をご存じでしょうか。これは、男性が育児休業や育児休暇などを利用する際に、職場の上司や同僚などから、暴言・減給・降格などの不当な扱いを受けることを指した、比較的新しい和製英語です。

以前に比べ、夫婦共働きで協力しながら家事や育児を担っていく家庭が増え、男性が育児に関わる休暇を取ろうとするのは極めて自然な流れといえます。では、なぜこのようなハラメントが起こるのででしょうか。

その1つに、男性に対する固定観念が挙げられます。『男は仕事、女は家庭』のような昔ながらの考え方が、社会に色濃く残っているのです。そのため、男性が稼いで一家を支え、女性が家庭を守る事が一般的だった時代の名残が、家庭的な男性に対しての

マイナスの感情となり、ハラメント行為へとつながっていくのです。『男は稼いでなんぼ』という呪縛(俗にいう『男らしさ』)に男性が苦しめられているのです。

また、これは職場の上司や同僚に限ったことではありません。ある調査では、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という考え方に対し、いまだに40%程度の女性が『賛成・どちらかといえば賛成』と答えています。つまり、家庭における男性の役割として、『お金を稼ぐこと』の比重がまだまだ高いことがうかがえます。女性も昔ながらの『男らしさ』ではなく、性によらない役割を担う時代に入ってきているべきであり、そうすることが男女協働の社会を実現するための一歩となるでしょう。

## 郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑩

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎3186

### 今岳城跡

今岳城跡は大坪町字今岳にある中世の山城跡で、今岳神社の南にそり立つ高さ90餘りの断崖絶壁の上に、東西90餘、南北30餘の規模で城郭遺構を展開しています。

高位の曲輪まがわの南側には帯曲輪おびが構築されていますが、この帯曲輪は20×80坪程度の玄武岩を用いた高さ2層程度の石積みで構築されています。この石積み

は規格的に構築した石垣とは異なり、玄武岩を乱雑に積み上げたものですが、今岳城ほどの規模の石積みは市内の他の山城では見られない特徴です。今岳の南北の中腹にはまともな平坦面が展開していますが、こちらは城跡に付随するものなのかどうかはつきり

しません。

今岳城跡については、一説では地北祇園城跡の支城とも言われていますが、関連する史料が見つからないため、詳細は不明です。山頂の城郭遺構へは、道の無い極めて急な山の斜面を登って行かなければならず、見学に適した城跡ではありません。



↑今岳城跡の石積み